

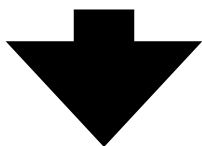
## <背景及び改善の方向性>

「あつまバス安平循環線・追分線・遠浅線」は、乗車実績が年間 1,500 人台（1 便あたり 1.5 人）と落ち込みが見られ、「せいこドームバス」は、多目的に一般町民が乗りたくてもせいこドーム利用者限定のバスであるため乗車できないなど、町民の移動ニーズとは乖離している部分がありました。また、両バス事業が類似した経路を運行しており、非効率な状況も生じていました。そうした状況を両バス事業の統合により改善し、国庫補助も受けながら持続可能かつ望ましい公共交通体系の実現に向けた一施策として実施しようとするものです。

現在は、多目的に一般町民が乗ることができる「あつまバス安平循環線・追分線・遠浅線」が計 4 便ありますが、「(仮称) 新バス」の計画原案では、平日の週 5 日間、遠浅～早来～安平～追分の 4 地区を 1 日 10 便程度運行する内容としており、便数を 2 倍程度に増便する計画です。さらに、そのダイヤは、例えば 1 時間おきにただ走らせるという考え方ではなく、どんな人がどんな目的のために乗るかということ具体的に想定して、原案を作成しています。今回は、そうしたダイヤ等を公共交通全体の役割分担や共存を念頭におきながら意見交換させていただく機会にしたいと考えています。

### 安平町の公共交通体系

交通モード	事業主体	説明
鉄道	J R 北海道	室蘭線、石勝線 主に都市間移動に利用。安平町では町内移動にも利用可能。
路線バス	あつまバス	苫小牧線、千歳線、 <b>安平循環線、追分線、遠浅線</b> など（運賃有料） 安平循環線、追分線、遠浅線は、町が運行経費を補助。
<b>せいこドームバス</b>	安平町	せいこドーム利用者のみが乗車可能な町営バス（運賃無料） 安平・遠浅プールの廃止に伴い運行を開始。
デマンドバス	安平町商工会	主に小地域内を移動するための予約制の乗り合いバス（運賃有料） デマンドバスは、町が運行経費を補助。
ハイヤー	早来ハイヤー 追分ハイヤー	適時性や行き先の自由度が高い公共交通
公共交通に含まないその他の事業		通園・通学バス、福祉バスなど



**下線部「あつまバス安平循環線・追分線・遠浅線」と「せいこドームバス」を統合し、新たに「(仮称) 新バス」の平成 31 年 4 月からの運行開始を目指しています。**

#### 平成 28 年度

乗降調査や病院や店舗等での住民聞き取り調査のほか、住民意見交換会や地域公共交通会議を経ながら安平町地域公共交通網形成計画（素案）を作成し、計画素案に対するパブリックコメントを実施。

#### 平成 29 年度

安平町地域公共交通網形成計画を 5 月に策定完了し、(仮称) 新バスの運行や公共交通の利用促進などの施策を実施検討する 5 か年計画を樹立。公共交通の総合時刻表の配布などの一部施策を実施。

説明会に関するお問合せ

地域推進課 地域推進グループ ☎ 7083